

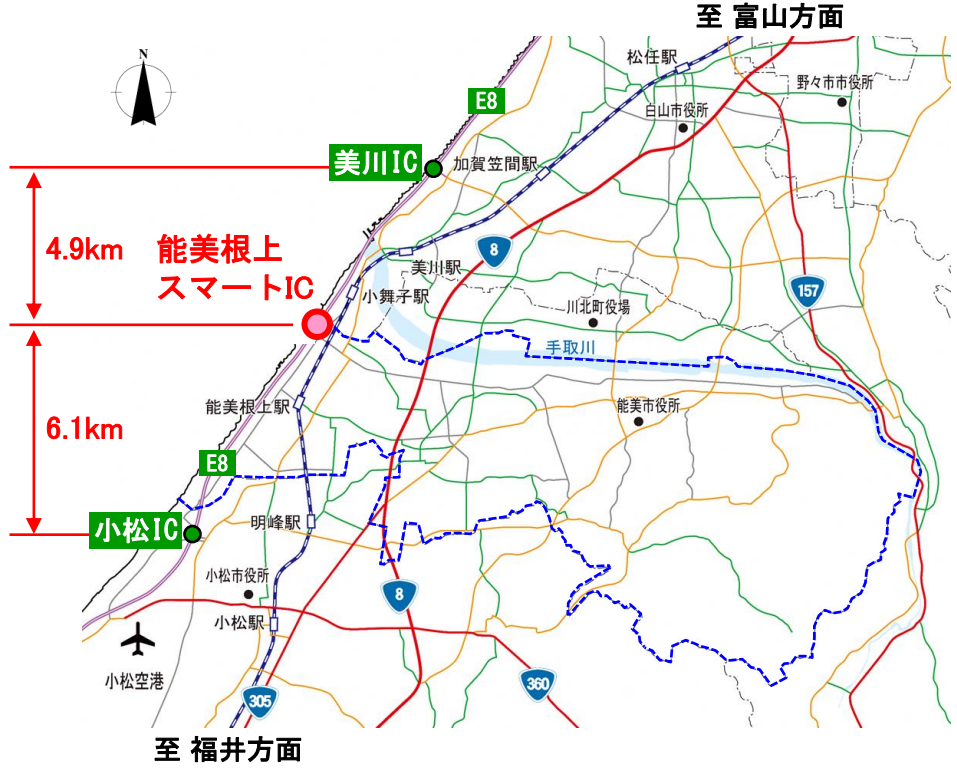
1. 能美根上スマートICの利用状況

1-1. 施設概要など

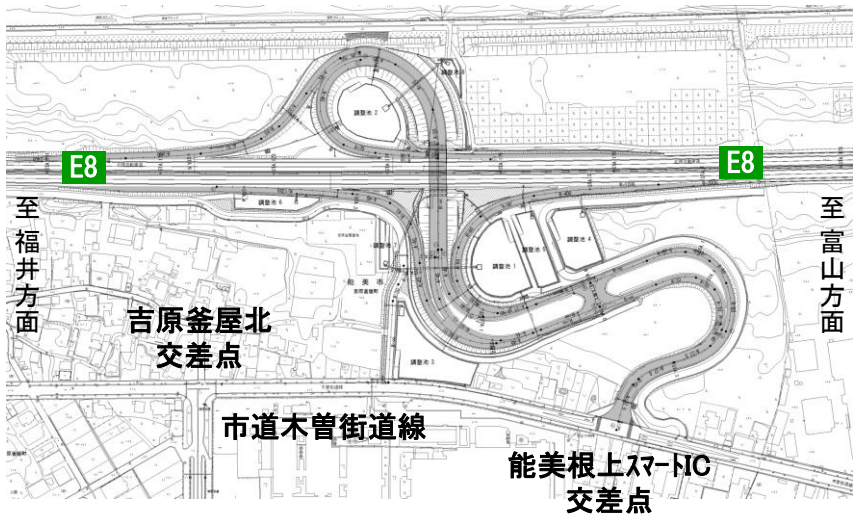
【航空写真】



【位置図】



【平面図】



【概要】

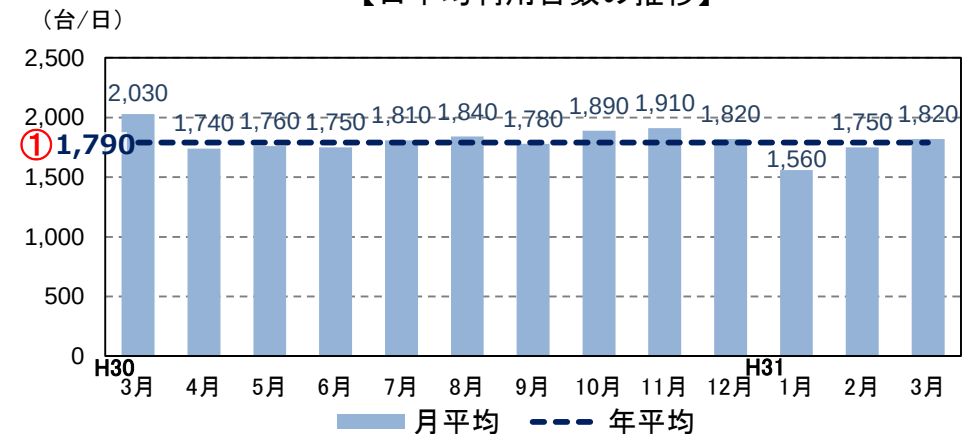
位 置	: E8北陸自動車道 小松IC～美川IC間
営業時間	: 24時間
利用車種	: ETC車載器を搭載した全車種
運用形態	: フル方向
形 式	: 本線直結型
開 通 日	: 平成30年 3月25日(日)

1. 能美根上スマートICの利用状況

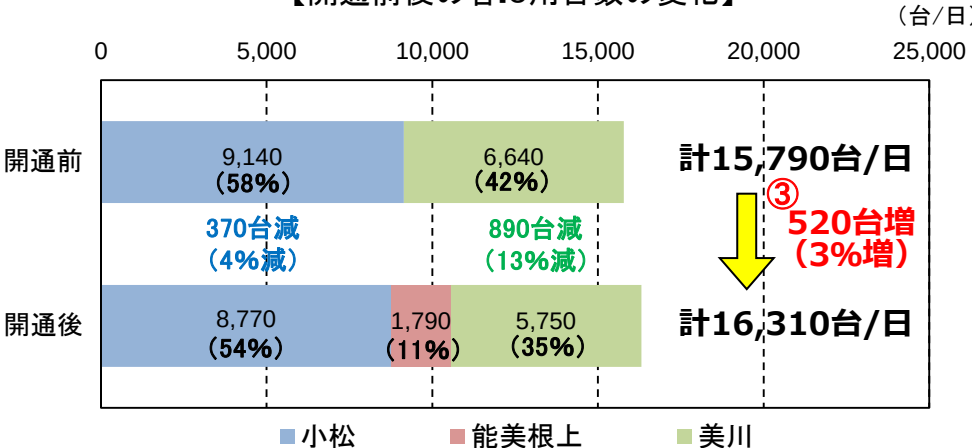
1-2. 開通後一年間の利用状況

- ①開通後、1年間(平成30年3月25日～平成31年3月24日)の平均利用台数は約1,790台／日
- ②平成31年2月末には累計60万台に到達
- ③前後ICを含んだ利用台数は、520台／日増加(3%増)し、周辺地域における高速道路の利便性が向上

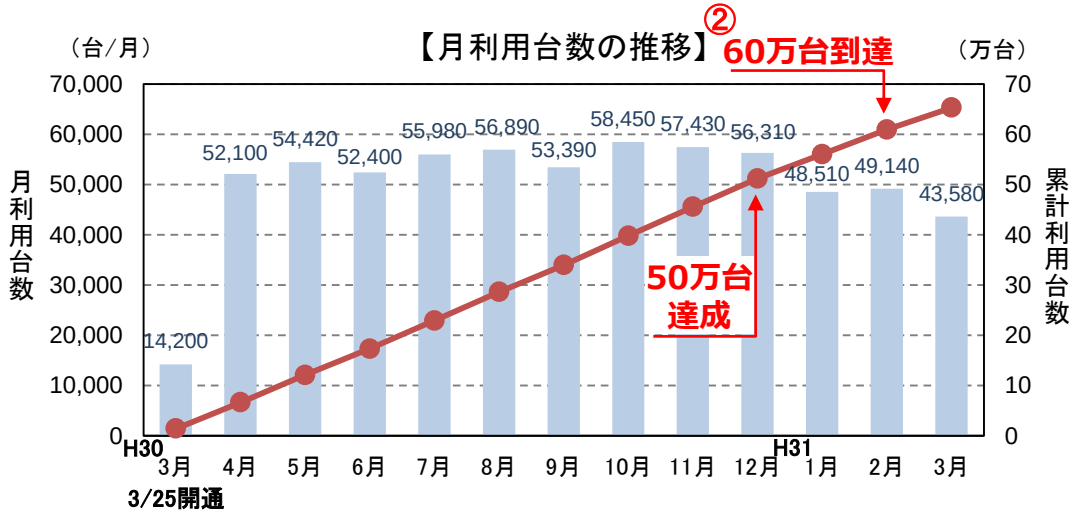
【日平均利用台数の推移】



【開通前後の各IC用台数の変化】



【月利用台数の推移】



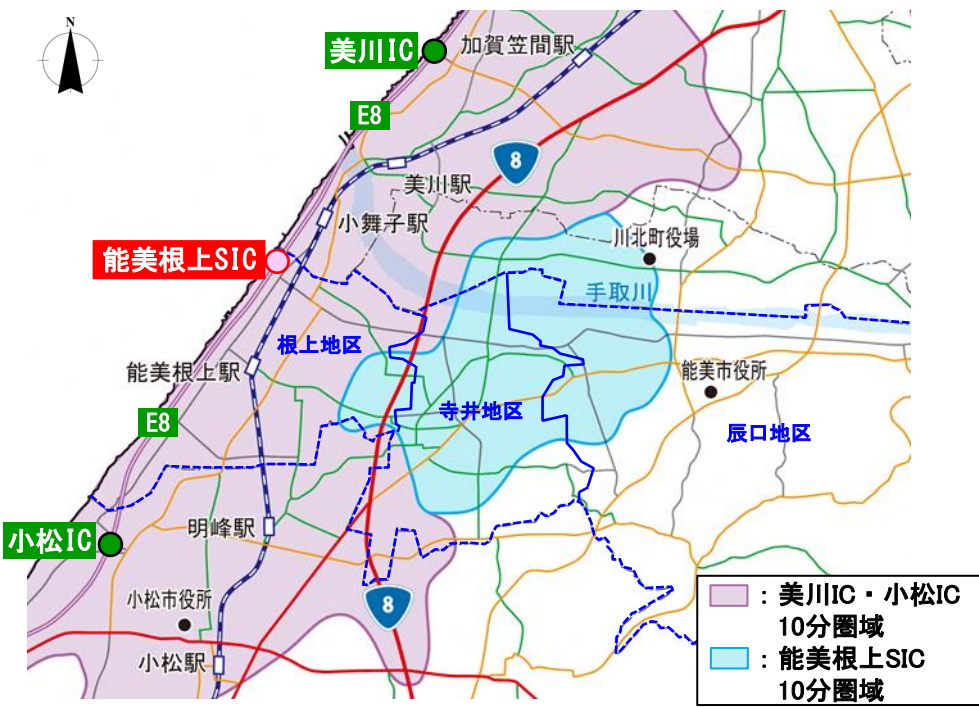
※集計期間：平成30年3月25日～平成31年3月24日
※四捨五入により合計は一致しない場合がある
データ出典：中日本高速道路㈱

2. 能美根上スマートICによるアクセス性向上効果

2-1. 高速道路利用者の利便性向上

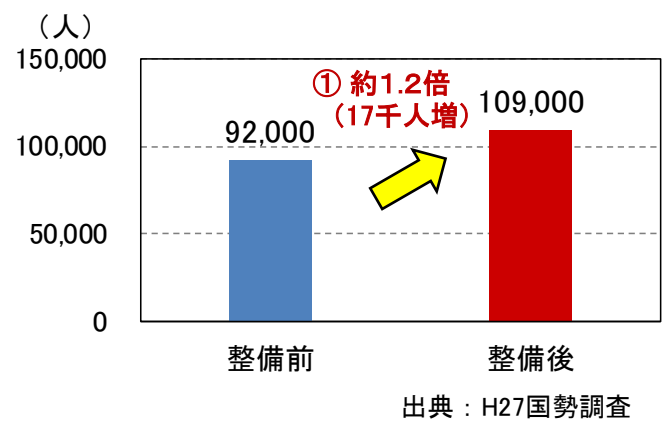
- ①能美根上スマートICの開通により、北陸自動車道ICへの10分アクセス圏域が拡大し、**圏域人口が約1.2倍(17千人増)に増加**
- ②能美市内においては、**10分圏域人口カバー率が36%から66%に拡大**し、高速道路利用者の利便性が向上

【北陸自動車道ICへの10分アクセス圏域図】

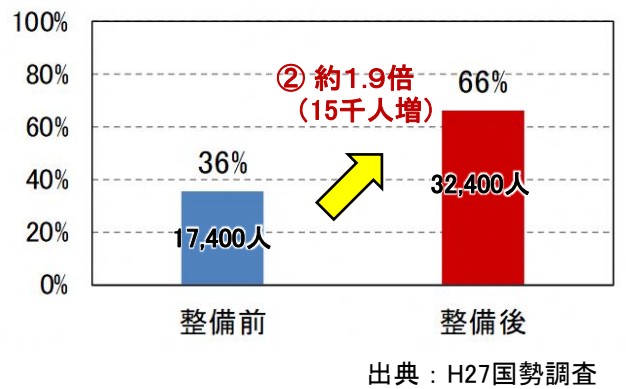


資料提供：金沢河川国道事務所（ETC2.0）
美川IC、小松IC：H29年4～12月、平日7～19時
能美根上SIC：H30年4～12月、平日7～19時

【10分アクセス圏域の総人口】



【能美市内の10分圏域人口カバー率】



2. 能美根上スマートICによるアクセス性向上効果

2-2. 産業の活性化

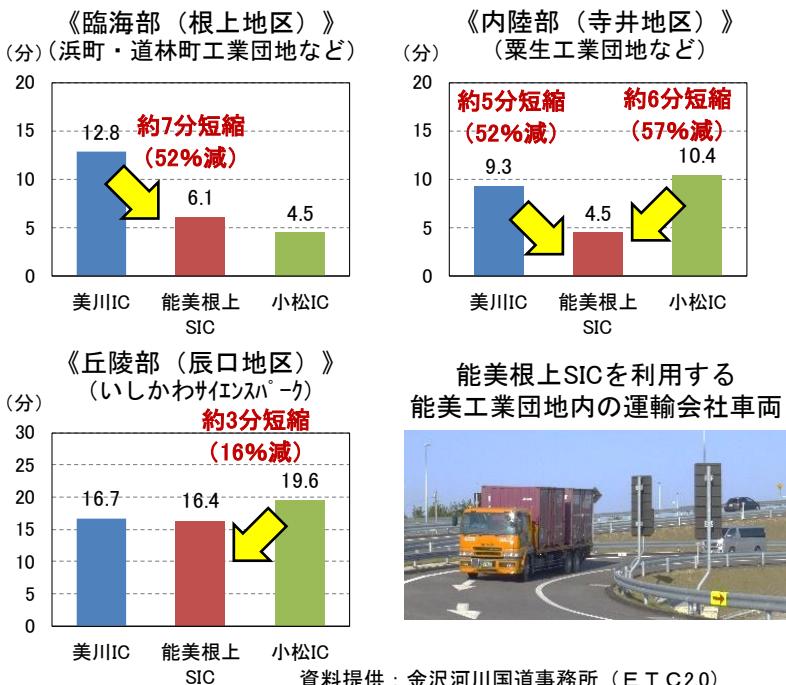
○能美根上スマートICの開通により、臨海部をはじめ手取川沿いなどの内陸部や丘陵部に点在する市内工業団地などへの北陸自動車道からのアクセス性が向上し企業活動を支援

- 臨海部(根上地区) : 「浜町・道林町工業団地など」では金沢・富山方面のアクセス時間 約7分短縮
- 内陸部(寺井地区) : 「栗生工業団地など」は金沢・富山と加賀・福井の両方面のアクセス時間 5分以上短縮
- 丘陵部(辰口地区) : 「いしかわサイエンスパーク」は加賀・福井方面のアクセス時間 約3分短縮

【主な工業団地と北陸自動車道ICへの10分アクセス圏域図】



【北陸自動車道から工業団地へのアクセス時間】



(株)アイ・オー・データ機器物流センター



日本ガイシ(株)石川工場



いしかわサイエンスパーク



資料提供: 金沢河川国道事務所 (ETC2.0)
美川IC、小松IC: H29年4~12月、平日7~19時
能美根上SIC: H30年4~12月、平日7~19時



- ・富山方面へ向かう時や、富山方面から帰社する場合、約5分程度短縮し、大変便利になりました。(15分、30分短縮の意見もあり)
- ・運行時間の予測が立てやすくなりました。
- ・ドライバーの負担が軽減しました。

能美市内事業所の声 (事業所アンケートより)

2. 能美根上スマートICによるアクセス性向上効果

2-3. 観光振興の支援

○能美根上スマートICの開通により、北陸最大級の焼き物市である「九谷茶碗まつり」の駐車場(1,200台分)への
北陸自動車道からのアクセス時間が4分以上短縮し、観光客の利便性が向上

【主要観光施設位置図】



約4万人(H30)

辰口温泉総湯 里山の湯



辰口温泉 約6万人(H30)



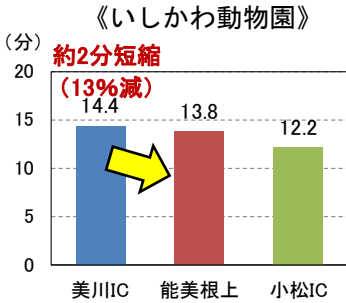
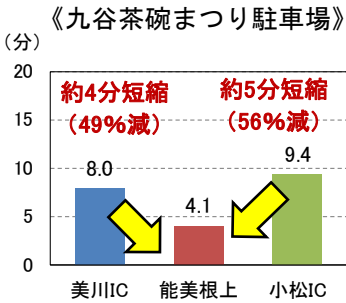
約26万人(H30)

いしかわ動物園



約32万人(H30)

【北陸自動車道から観光施設などへのアクセス時間】



資料提供：金沢河川国道事務所（E T C 2.0）
美川IC、小松IC：H29年5月3～5日、7～19時
能美根上SIC：H30年5月3～5日、7～19時

《九谷茶碗まつり》

開催期間：毎年5月3～5日
観光客数：17万人(H30)
まつり会場：九谷陶芸村
駐車台数：栗生工業団地 1,200台



・九谷茶碗まつりの来場者から、「栗生の駐車場へのアクセスが容易になり便利になった」という意見を聞きました。
・観光客に対して観光施設へのルート案内が分かりやすくおこなえるようになりました。

能美市観光物産協会の声

出典：能美市

3. 利用者アンケート結果

3-1. 利用頻度の変化や移動時間の短縮について

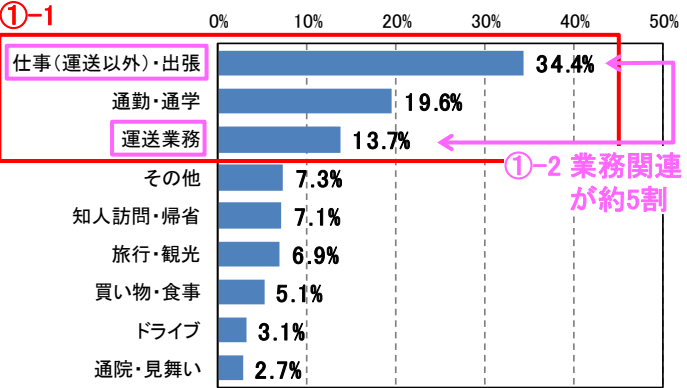
◆利用者の8割以上が5分以上の移動時間短縮を実感

- ①利用目的は「仕事(運送以外)・出張」が約3割で最も多く、次いで「通勤・通学」が約2割、「運輸業務」が約1割の順に多く、業務関連が約5割を占めている
- ②利用頻度の変化は、4割以上が「以前に比べて増加」しており、特に「通勤・通学」「買い物・食事」では約6割が増加
- ③移動時間の短縮は、8割以上が「5分以上の短縮」を実感

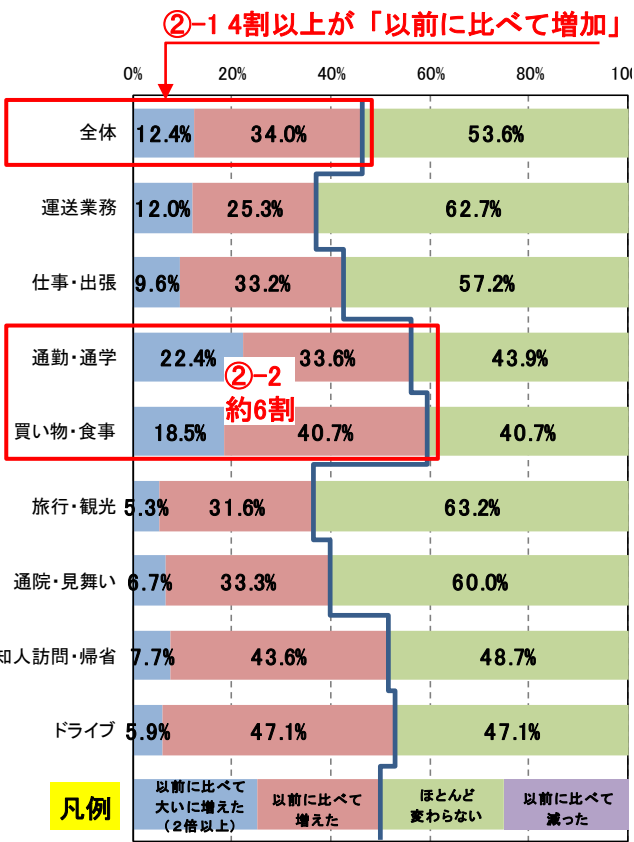
【アンケート調査概要】

調査対象	能美根上スマートIC利用者
調査方法	ゲート(2箇所)にて調査票を配布 郵送・Webで回収
調査日時	平成31年4月13日(土)~20日(土)配布 ※平日・休日各2回、AM7:00~PM5:30 令和元年5月7日(火) 締切
配布・回収数	配布:2,479通 回収:557通(郵送388通、Web169通) 回収率:22.5%

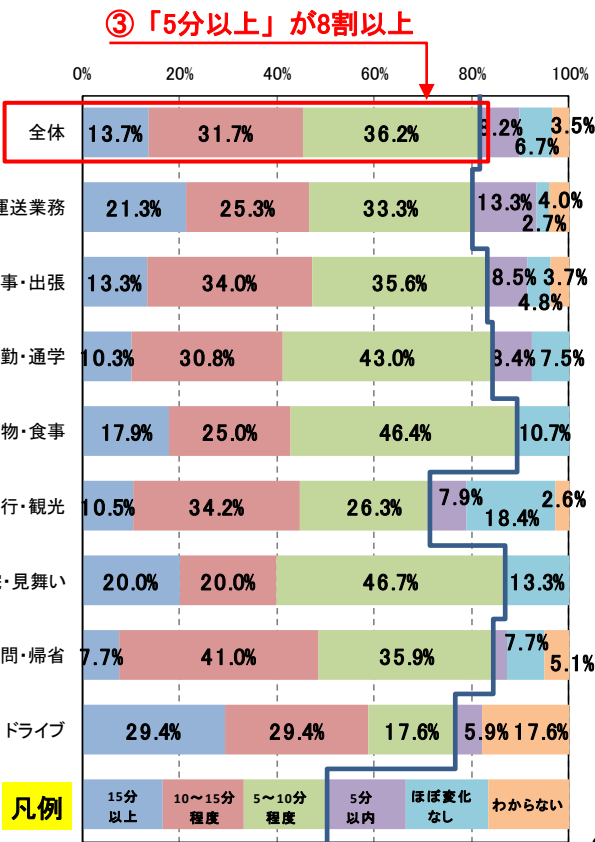
【利用目的】



【利用頻度の変化】



【移動時間の短縮】



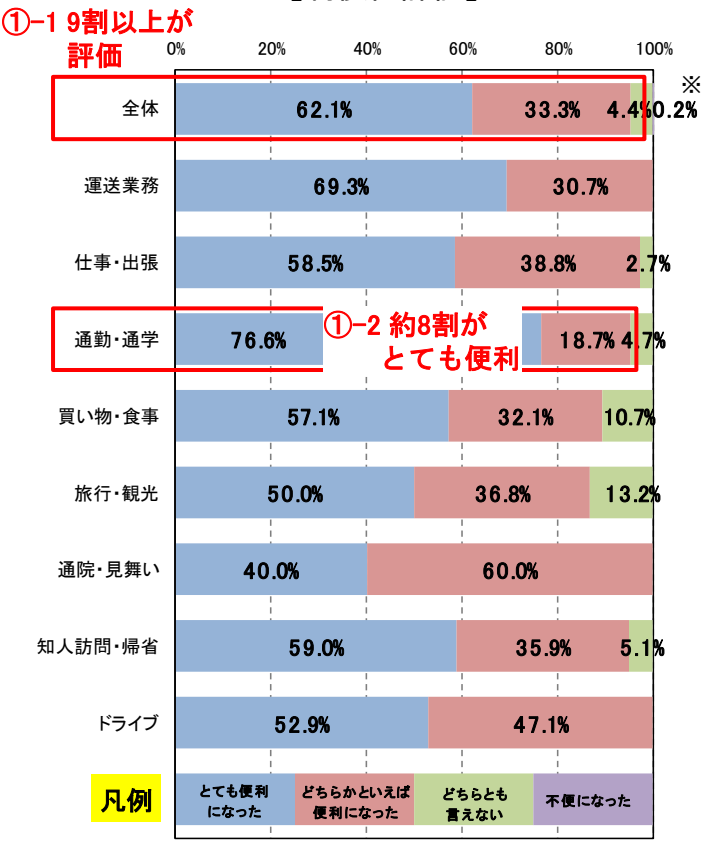
3. 利用者アンケート結果

3-2. 利便性評価や効果項目など

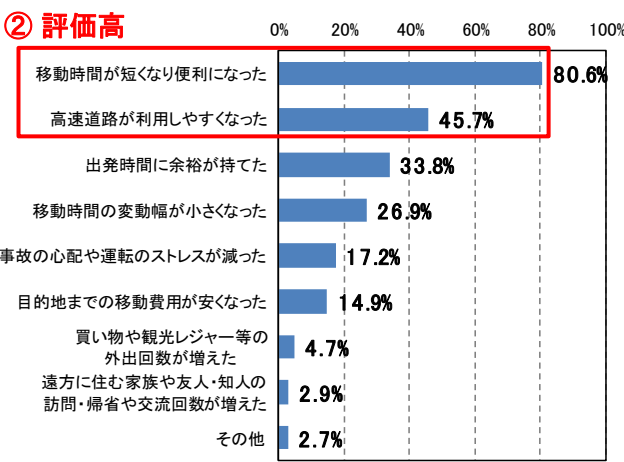
◆利用者の9割以上がスマートICが整備され便利になったと評価

- ①利便性の評価は、9割以上が「便利になった」と評価し、特に「通勤・通学」では約8割が「とても便利になった」と評価
- ②効果として、「移動時間が短くなり便利になった」が約8割で最も多く、次いで「高速道路が利用しやすくなった」が多い
- ③課題・問題点については、6割以上が「特にない(わからない)」であるが、「ICや観光地への案内」が各1割ある
- ④スマートICや周辺道路などに対する意見として、「案内標識の充実」や「休憩・商業施設の整備」などがある

【利便性評価】



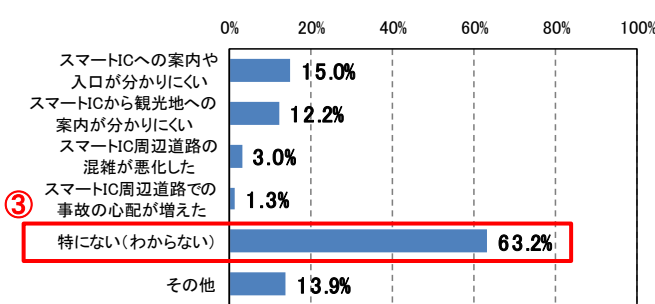
【効果項目】複数回答



【ICや周辺道路などに対する自由意見】

- ④
- ・国道8号や観光地への行き方が分かり難い。
 - ・コンビニ、飲食施設、トイレ、駐車場があるとよい。
 - ・IC出口から見える白山がきれい。調整池周りが殺風景。
 - ・IC前の市道が朝渋滞する。
 - ・ゲートの開閉速度が遅い。分岐の表示が分かり難い。

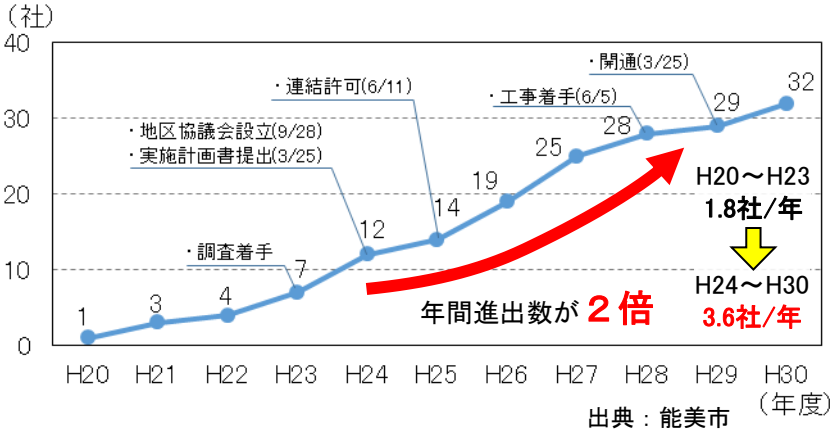
【課題・問題点】複数回答



4. 能美根上スマートICのストック効果

- ①能美市は第二次総合計画において、基本構想の一つである「基盤産業と地域産業がともに躍動する能美づくり」のもと、企業が集積し、産業が栄えるまちづくりを目標に企業誘致を積極的に推進
- ②スマートIC周辺3kmエリアを中心に、近年企業進出や増設が進み(投資額約680億円)、新規雇用数も増加(約2千人)
- ③スマートIC開通後3箇所の工業・産業団地が完売し、現在2箇所の流通・産業団地を造成中であり、すでに市内初となるビジネスホテル「(株)スーパーホテル」がスマートIC隣接地に進出を表明

①【市内における進出企業数の推移(累計)】



②【スマートIC周辺エリアにおける企業投資額と新規雇用数】

■スマートIC周辺3km範囲内において、平成24年度以降進出・増設のあった企業を対象（予定も含む）

企業投資額	約680億円
用地取得面積	約14ha
新規雇用数	約2千人 ※非正規含む

出典：能美市

企業内訳：(株)アイ・オー・データ機器、(株)金沢村田製作所能美工場、(株)スーパーホテル、司企業(株)、日本ガイシ(株)、日本通運(株)、日野トレーディング(株)北陸支社、(株)富士精工本社、NGKセラミックス(株)石川工場、(株)PALTAC

【能美根上スマートIC周辺の企業進出状況】



③【現在造成中の流通・産業団地】

	造成面積	備考
吉原釜屋流通団地	約0.9ha	H31.2 (株)スーパーホテル進出表明
福島産業団地(仮称)	約22.1ha	